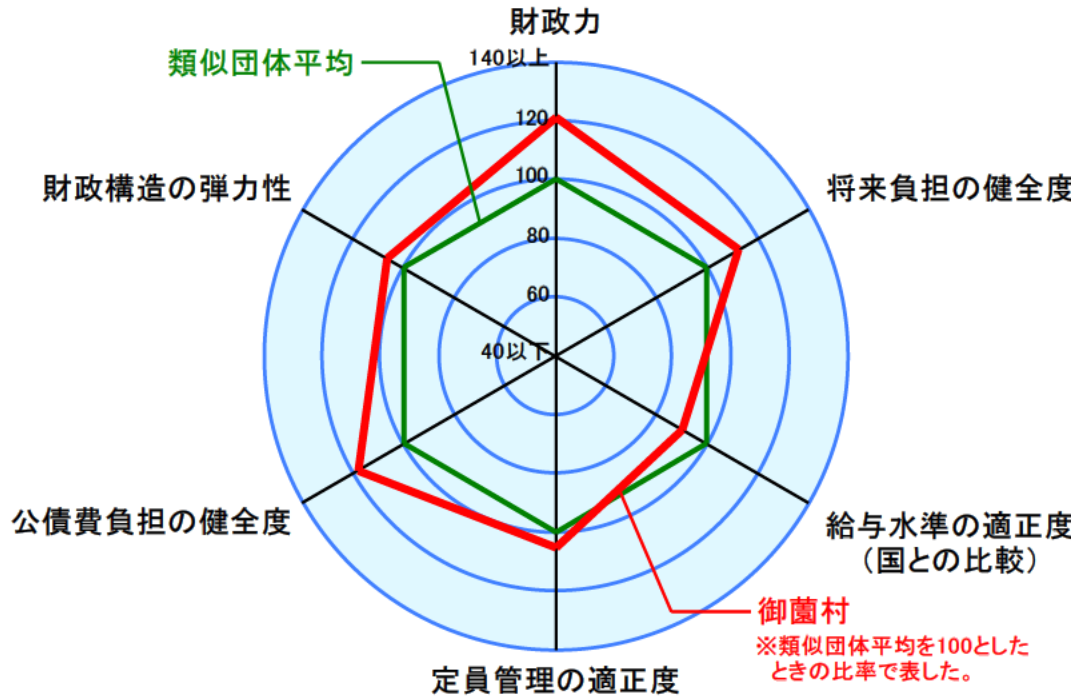
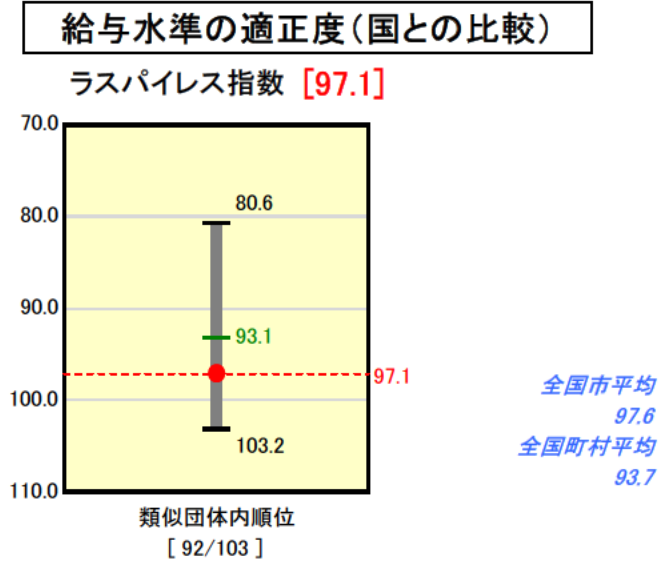
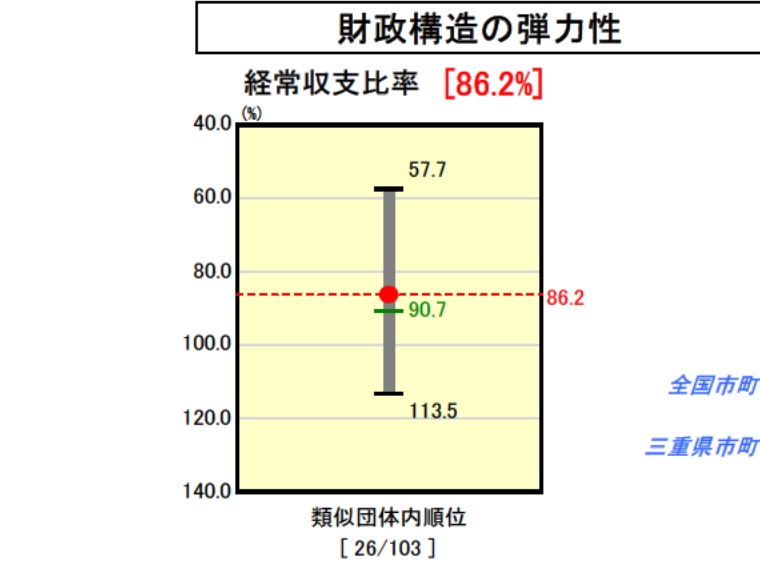
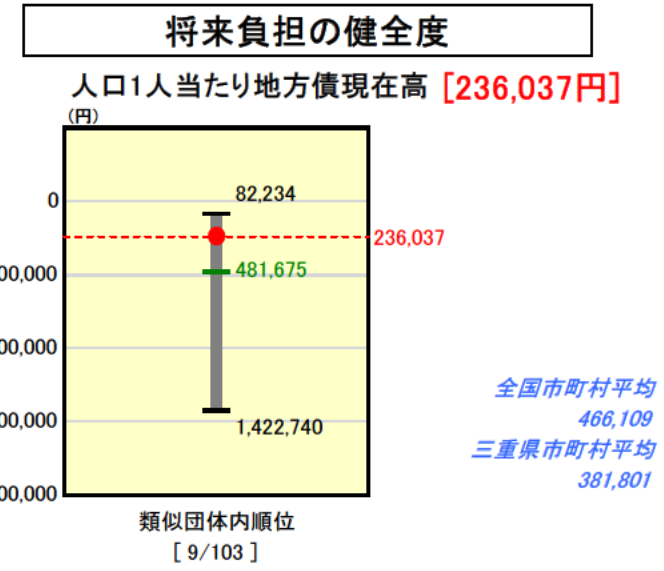
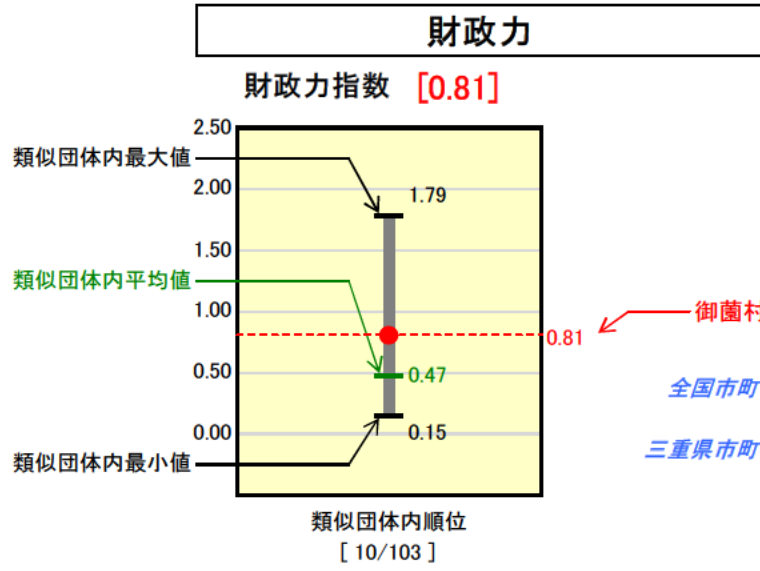


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

三重県 御蔭村

人口	8,947 人(H17.3.31現在)
面積	6.05 km ²
歳入総額	2,804,304 千円
歳出総額	2,599,205 千円
実質収支	205,099 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

【財政力指数】類似団体平均と比較すると村内の大型事業所の税収があるため0.81となっているが、近年その税収が減少しているため今後財政力指数は低下していくと思われる。H17.11に合併により伊勢市となり今後とも伊勢市として歳出削減、地方税の徴収強化等の取り組みを通じて財政基盤の強化に努める。

【経常収支比率】地方税の税収が類似団体に比べ比較的多いため86.2%と平均を下回っているが、その地方税の減収及び福祉関係経費等の増加により本年度は急増した。(対前年比9.4ポイントの上昇)また、地方税の徴収率は91.4%であり年々低下傾向にある。今後も、地方税の徴収に力を入れ徴収率を向上させるとともに事業を再度見直して廃止・縮小に努め経常経費を削減することに努め、最低でも現在の水準を維持していきたい。

【起債制限比率】以前から比較的自主財源に恵まれてきたため、起債の借入については抑制的な政策をとってきたため類似団体平均を大きく下回る数値となっている。今後も緊急などの確に事業を選択し、起債にたよることのない財政運営を進める。

【人口1人当たり地方債現在高】起債の借入を抑制してきたため類似団体平均を大きく下回っているが、当村の規模では高額な借入れである臨時財政対策債について毎年借り入れている状況であり、近年地方債の現在高は急増している。今後ともできる限り起債の発行を抑制し、財政健全化に努める。

【ラスパイレス指数】類似団体平均と比較すると4.0ポイント上回っているものの、当村の給与制度についてはほとんどが国の給与体系と同じであり、運用についてもほぼ同様である。しかし、一部国の運用と異なる部分があるので今後は村の行政改革実施計画にある給与制度の見直しに基づき改善していきたい。

【人口1,000人当たり職員数】平成5年度から10年度にかけて行政需要の増加・多様化に対応するため職員を大量に採用したが、近年は合併を控えてきたこともあり退職者を不補充とし職員の新規採用を抑制してきたため、類似団体平均を下回っている。今後は、伊勢市として定員適正化計画に基づき適正な職員配置に努める。

